

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 本体に熱湯を入れ、クエン酸を約10g加える。
- ② 約3時間後にスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、ご使用後は十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置
■保冷が効かない	十分に冷えたボトルを入れていますか。	十分に冷えたボトルを入れてください。

お客様相談窓口



0570-094891

●受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489

●FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・
電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

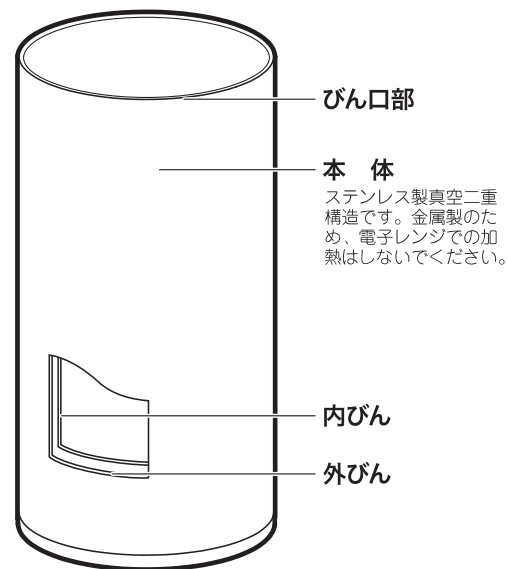
冷酒クーラー

取扱説明書

ACE型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



安全上のご注意

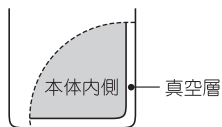
ご使用前によくお読みのうえ、
必ずお守りください。

保冷以外の目的に使用しない

- 乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。
けがなど危険。
- ストープやコンロなど火のそばに近づけない。変形・変色の原因。
- 直径8.5cm以下のボトルを入れてください。
- ボトルを入れたまま、本体を持って注がない。
ボトルが飛び出して、けがや破損の原因。
- パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械の近くで使用しない。万一こぼした場合、精密機械の破損の原因。
- 不安定な場所に置かない。
転倒して飲みものがこぼれ、ものを汚す原因。
- 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。
- 冷凍庫に入れない。故障の原因。
- 電子レンジでの加熱はしない。火花が飛び危険。変形や変色の原因。
- 倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。
破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれの原因。

真空層の内部から水が音がる場合は、
使用しない。

保冷効果が低下するおそれ。



ご使用方法

ご使用前に本体を洗ってから
ご使用ください。

1 ボトルを本体に入れる

適切に冷やしたボトルを中央にゆっくり入れる。

※いきおいよく入ると破損するおそれがあります。

※本体の保冷効果により、水・氷を入れずに
ご使用いただけます。



ご使用方法

つづき

2 飲みものを注ぐ

グラスなどに注ぐときは、その都度本体からボトルを取り出す。
※ボトルを入れたまま、本体を持って注がない。

3 飲み終わったら

ボトルは長時間放置しないで、本体から取り出してください。

お手入れ方法

- ◆ ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆ お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆ においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側 水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに
含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で
水分をふきとる。※つけ置き洗いはしない。

本体内側 水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついた
スポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗った
後、水分が残らないよう、乾燥させる。
※つけ置き洗いはしない。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は漂白剤を使用しない。サビ・塗装はがれのおそれ。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・
化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。
傷・サビなど故障の原因。
- 本体の煮沸および食器洗浄機や食器乾燥機などの使用は
しない。傷・サビ・変形など故障の原因。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗った後は、必ず水分をふきとる。
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落
とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。